

## 第7期 事業報告書

令和5年10月1日から令和6年9月30日まで

NPO 法人 あったかいいねっと

### ・理事会の開催

#### 第7期第1回理事会

開催日時 令和5年12月1日(日) 18:00~19:00

- 議 題
1. 第6期事業報告及び予算決算の承認について
  2. 第7期事業計画(案)及び活動予算(案)の承認について
  3. 役員(理事)の変更について

### ・第8回通常総会

開催日時 令和5年12月1日(日) 19:10~19:40

出席者数 8名(出席正会員 6名、委任状出席 2名)

- 議 題
1. 第6期事業報告及び予算決算の承認について
  2. 第7期事業計画(案)及び活動予算(案)の承認について
  3. 役員(理事)の変更について

第7期では、広く社会に認められた認定NPO法人の前段である特例認定を受けることができました。今後は認定NPO法人になる要件である100人以上方に支援していただけるような活動をしていく必要があります。今期の取り組みとして、法人設立時から支援していただいた方々に会報誌を送付し、法人活動の現状をお知らせするなど引き続きの支援を依頼しました。

更に法人の認知度を上げるため、ホームページ・Instagram・フェイスブックなどを適宜更新すると共に、癒しのマルシェや浜田市健康福祉フェスティバルに参加し、第6期に事業化したあったか工房の作品やあったかファームの野菜を販売することに併せて、法人紹介のリーフレットを配布するなど、積極的にPR活動をしました。

その他全国規模の研修会に参加するなど、共生社会について共有する機会を作りました。このご縁が工房の作品やファームの野菜の販売へつながったり、寄付をいただくなど、複数の個人や団体から応援をいただくこと

ができました。

デイサービスの営業については、介護職員のライフワークバランスやスムーズな情報共有など働きやすい職場環境の整備及び人件費の削減を目的に、令和5年12月より週6営業（月から土曜日営業）から週5営業（月から金曜日営業）に変更しました。しばらくは、利用者様や支援事業者などから土曜日の営業について要望の声は聞こえていましたが、ほとんどの利用者様は当事業所の利用日を振り替えることで対応していただきました。

経営については、介護福祉の報酬改定がありましたが共生型にとっては十分な改定ではなく、社会情勢の変化に伴う物価高騰や人件費の増加で経費全般が増大し経営を圧迫しました。

## 1. 事業の成果

### 【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】

#### ① 共生型デイサービス事業について（6年目）

利用者様は、令和6年9月末現在33名で、年齢は20歳から100歳と幅広くなっています。利用者様の状況は本当に様々で日々変化しますが個々に応じた支援を提供できました。

一方では、精神障がいを持つ方のご病気の悪化、揺れなどに直面することもあり支援の難しさを感じることも多々ありましたので今後の課題として取り組んでいきます。

新たな取組みとして、専門家の指導の下、調理実習を行い、参加者の皆様に喜ばれました。障がいのある30代の方はこれを機に自宅で調理や弁当作りをするようになったり、高齢者様も調理への悩み解決の糸口となりました。

ア 介護保険対象の方：令和5年度（第6期）から継続している※ICFの視点からの生活リハビリを含めた個別機能訓練は、引き続き成果が出ているため今後も継続していく予定です。個々が健康的に楽しみや役割を持ち過ごせるよう、あたたかく丁寧な支援をすることができました。

特に機能訓練を充実したことで、高齢者様のADL維持ができ、要介護2から1になられた方もおられご家族様からも喜ばれました。

介護予防の新規の希望者も数名受け入れをし「初めてサービスを使ったがこんなにいい所ならもっと早く来ればよかった」との声

を頂きました。

※ICFとは、①健康状態②心身機能③身体構造④日常生活動作⑤生活の場への参加⑥物的、社会的、人的な環境、性別年齢体格性格などの因子

イ 障がい者の方：新規に受け入れたある方は、一般の生活介護事業所では日中活動につながりませんでした。当事業所を利用されるようになってからは高齢者様や他の利用者、スタッフと打ち解け通所につなげることができました。また長期間精神科閉鎖病棟に入院されていた方を受け入れる試みもしました。

個々の特性・得意に合わせた作業活動や役割、作品作りにも力を入れ、「工賃が出せる生活介護事業所」を目指し取り組みました。日々のカンファレンス研修を繰り返して来ましたが障がい特性について更なる学びの必要性を痛感しました。

ウ 障がい児の方：今期の利用はありませんでした。夏休みに児童の受け入れの間口を広げ、イタリアから共生型の体験視察に来られた遺伝性疾患のあるハーフのお子様を一時的にお預かりしました。共に過ごし喜ばれ、共生型デイサービスならではの幅の広がりのある場(環境)が多国籍障がい共生においても希望の持てるサービス形態であることなどを確認できる良い機会となりました。

エ 共生型デイサービスの視察・体験(交流)・実践研修など準備を行い少数ではありますが実施しました。

○年間の利用者数については下記表参照。

延べ年間利用者数	6期	7期	増減
介護保険対象者数	2,856	2,182	△674
障がい者対象者数	937	1227	290
障がい児対象者数	0	0	0
合計	3,793	3,409	△384

土曜日営業中止による利用者数の減に加え、平日の利用者数も減少が見られました。利用実数が維持できるよう工夫が必要となりました。

## ② 相談支援事業について

令和5年5月に立ち上げた相談支援事業所「雨のち晴れ」の利用者の拡大を図るため、積極的に地域の協議会などへ出席し知見を広げると共に、相談支援員の質の向上のため各種研修会などへ参加しました。

現在利用者様は8名で、丁寧な関りで信頼を得ています。

## 【2. 安心して過ごせる居場所づくり事業】

### ① とき時カフェ（第7期における試行事業）

デイサービス利用者様、ご家族様、視察・見学者の方のご利用が主で一般の利用は僅かでした。また販売用食品作りについては、有名なカフェのシェフによる指導を受けました。

### ② フリースペースの貸出し

貸出数は数件でしたが、地域の中で生きづらさを抱える方のフォローや共生社会に関わる活動を行っている団体や個人などが利用されました。

## 【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】

あったかいいねっこの行う事業を支える柱として整備を続けてきたことで、今期の目標売上金額を上回ることができました。農作物の栽培や収穫といった作業を通して、「命を感じる活動」としての役割もしつかりと果たせているように思います。さつまいもほり体験など、デイサービスの利用者のみではなく、サロン活動の一部としても地域に開いて活動しました。

また、あったかファームの野菜を地域イベント（マルシェ・福祉フェスティバル）で販売し、交流を図りました。

## 【4. 育ちあう、広げる活動に関する事業】

### ① 共生型交流サロンについて

#### ア 定例会・イベント

共生型交流サロン活動として、定期的な開催とまでは至らないまでも、前期よりは多く開催することができました。

共生型デイサービスの体験ボランティアとして受け入れ、環境

整備のボランティアには施設周辺の草刈りをしていただきました。

今後も、ボランティアを受け入れながら、地域との交流を図っていきます。

#### イ 人材育成事業

今期は行えず、来期以降の計画策定に留まりました。

### 【5. その他目的を達成するために必要な事業】

#### ① あったか工房について

木工のほか、庭の花を摘んでドライフラワーを作り、レジンでブローチなどを作る新しい取り組みをしました。

#### ② 目の前の笑顔のために

目の前の笑顔プロジェクトの対象の方はおられませんでした。

#### ③ 傾聴相談事業

障がいを持つご夫婦の悩み事など丁寧に聞かせて頂き、安心や新たな視点を見出していただくきっかけを提供できました。

#### ④ 整備事業

木・畑や花壇の整備といった共生型施設全般の環境整備をボランティアの力を借りながら実施しました。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定の日時 場所、従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲 及び予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
<b>【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】</b>				
共生型デイサービス 「お天気いいね」	介護保険、障がい福祉サービス事業のデイサービス 地域密着通所	10～11月：月～土 営業 12～9月：月～金 営業 月水金：	要支援 1・2 要介護 1～5 区分2～6 定員1日 18名	収益 ：38,388 費用 ：38,704

	介護 共生型生活介護など	9:00~16:00 火木:10:00~16:00		
相談支援事業所 「雨のち晴れ」	障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むための相談支援	月~金 9:00~16:00 随時	障がい(児)者やその家族 (9/1現在登録者8名)	収益:448 費用:46
<b>【2. 安心して過ごせる場所づくり事業】</b>				
とき時 カフェ	・デイサービスの昼食提供 ・地域食堂(お子様、孤食者、貧困者など)	デイサービス営業時間 (予約制) 調理員他2名	・デイサービス利用者及び見学者	収益:93 費用:14
フリースペース	フリースペースの貸出	支援ハウス 和室・2階	デイ利用者・生活困窮者・孤食の人・子ども・地域の人	収益:14 費用:2
<b>【3. 自然(命の循環)を感じる活動に関する事業】</b>				
あったか ファーム	畑作業、収穫、調理、販売など	畑 随時 浜田市熱田町119 2-2 スタッフ2名	生きづらさを抱えている人	収益:176 費用:70
<b>【4. 育ちあう、ひろげる活動に関する事業】</b>				
共生型 交流サロン	・定例会 ・イベント	・支援ハウス ・あったかファーム	・地域の方々 ・生きづらさを抱えている人	収益:34 費用:62

人材育成	共生型人材育成	随時、体験ボランティアとして受け入れ	地域共生社会に興味のある方	収益：0 費用：0
<b>【5. その他目的を達成するために必要な事業】</b>				
あったか工房	「もの作り」で就労に向けた手作業の体験。製品として販売し作成者に還元	適宜	・生きづらさを抱えている人 ・利用者	収益：50 費用：33
目の前の笑顔のために	地域共生社会を実現するためにまだ地域にないサービス、支援活動	随時 必要な場所	生きづらさを抱えている人	収益：0 費用：0
法人活動 ※助成金、寄付金などについては記載なし				収益： 39,521 費用： 39,351

※詳細については第7期決算報告書参照

3 その他事業 実施なし